

知の泉

Castalia

第 25 号
2018.10

東京外国語大学附属図書館報

---Contents---

02 館長巻頭言

03 新しくなったりポジトリ

DOI とクリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて

05 実は宝の山！

旧分類図書コレクション紹介

07 附属図書館トピックス 平成 29 年度 公開講演会&展示会報告

10 図書館統計

12 図書館活動日誌・編集後記

館長巻頭言

附属図書館長 伊東 祐郎

今から数年前、ある女性歌手が『宇宙図書館』という題名の歌を唄っていた。「宇宙」と「図書館」を合体させたタイトルが私には斬新に感じられた。いつも恋愛の歌を作詞作曲している彼女がどのような視点からこのようなタイトルの歌を発表したのか気になった。この歌の図書館にかかわる歌詞の一部はこのように唄われていた。

「棚の隅に眠っていた 遠い日々の贈り物 今 私が開くように あなたがのこしたメッセージ
光りの塵 射し込む窓 ほおづえつき 読みだせば 目を覚ました文字たちが 踊り始める」¹⁾

言うまでもなく、図書館の棚に並べられて保管されている図書は、過去に著者らによって綴られたメッセージが詰まった書物である。これを「遠い日々の贈り物」としたところが面白い。図書館の様子を「光りの塵 射し込む窓」と図書館利用者であればだれもが体験したある種の共通の心像を再現し、「目を覚ました文字たちが踊り始める」と、読者に本を開けてもらった瞬間に、これまで眠っていた文字が息吹を吹き込まれ、著者のメッセージがよみがえるという情景をうまく表現している。彼女の図書館と図書に対する洞察力や感性のなせる技だろう。

最近の図書館のイメージは、歌詞で唄われているような「多くの本が棚に並んでいるところ」「本を読むところ」「本を借りるところ」という従来の機能とは異なる役割や特色を持つ図書館が増えてきた。

このような背景があつてのことかどうかかわからないが、最近、図書館利用者が図書館に抱くイメージについて調査した論文が目にとまった。それによると、図書館に対して肯定的なイメージを抱いていたり、図書館をよく利用していたりする人は、図書館に対して好意的な行動をとり、一方で、図書館をあまり利用しない人や、否定的な印象、例えば「暗い」「つまらない」「近づくにくい」「時代遅れ」などの印象を抱いている人は、図書館の利用を避けるようになると述べられていた²⁾。またある論文は、図書館利用者の利用目的と利用形態、満足度がイメージ形成にどのような影響を与えているかを調査し、図書館に対するイメージには8因子あると紹介している。「図書館の利用感」「図書館の愉快さ・弛緩性」「図書館のモダンさ」「図書館の開放性」「図書館の雰囲気」「図書館の存在感」「図書館の姿勢」「図書館のゆとり・発展性」である。「利用感」には閲覧席の利用が影響を与えているとし、図書館独特のサービスが「利用感」「モダンさ」「開放性」に影響を与えているらしい。図書、雑誌等の紙媒体資料の利用については「図書館の存在感」に影響を与えていると書かれていた³⁾。最近注目されているラーニング・コモンズやセミナー室の設置やその利用は、「図書館のゆとり・発展性」に影響を与えているようだ。イメージは当然のことながら人によって違うことを前提にしながらも、利用形態によってイメージも異なってくるとまとめている。

イメージと言えば、図書館の一角にカフェを設けているような図書館もある。館内の図書や雑誌などを持ち込むことが可能というから驚きである。前号の巻頭言で、最近の図書館への期待に「場・空間としての図書館」があることについて述べたが、「宇宙図書館」から、改めて、この「場・空間」は、過去（文化遺産の保存）・現在（個人やコミュニティの育成）・未来（研究や学術の推進）を有機的に結びつけるエネルギーを秘めた、あるいは包容した空間で、秩序をもって存在する時間的そして知的な世界、英語で言うところのユニバース（宇宙）に相当するのではないかと感じている。

1) 松任谷由実『宇宙図書館』（2016年）より引用

2) 立石亜紀子『『場所としての図書館』に対する大学生の心理』『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』2010年度 pp.21-24

3) 岩村可奈子「利用者が図書館に抱くイメージの形成過程」2011年

新しくなった リポジトリ

～DOIとクリエイティブ・ コモンズ・ライセンスについて～



2017年2月に公表された本学のオープンアクセス宣言・オープンアクセス方針に基づき、東京外国語大学学術成果コレクション（Prometheus-Academic Collections）（以下、本学リポジトリ）ではDOI（Digital Object Identifier）とクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（以下、CCライセンス）の付与を開始しました（2017年4月以降）。


★オープンアクセス宣言・オープンアクセス方針：<http://www.tufts.ac.jp/research/openaccess.html>

DOI（Digital Object Identifier）とは

DOIとは、インターネット上の学术论文など（電子データ）の、ひとつひとつに付けられる国際的な、固有のIDです。たとえば、引用文献に載っている論文のURLにアクセスしたらページが見つからなかったり、あるいは、似たような論文があったりしてどれかわからなくなったりしても、DOIは一度付与されるとずっと変わらず、また、ひとつの論文に他とは重複しないユニークな番号が付けられています。このため、DOIを使うことで、いつでも同じ論文に、永続的なアクセスを保証することができます。

日本ではJapan Link Center（以下、JaLC）がDOIを管理しており、機関ごとにDOIの番号が異なります。本学リポジトリの簡易表示画面（図1）の「JaLC DOI」という項目に表示されているように、「/」の前の数字が機関固有の番号で、「10.15026」は東京外国語大学の番号です。「/」の後は、論文単位に各機関が付与している番号になります。

図1 本学リポジトリの簡易表示画面

タイトル	タイ語の3音節語の声調の音響音声学的分析
別言語のタイトル	Acoustic Analysis of Thai Tones in Thai Trisyllabic words
著者	益子, 幸江
別言語の著者	MASUKO, Yukie
公開者・出版者	東京外国語大学
作成日	2018-9-30
言語	Japanese (日本語)
収録種別	紀要論文
ISSN	04934342
JaLC DOI	info:doi/10.15026/92404
権利	本稿は、クリエイティブ・コモンズ(表示) 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
URI	http://repository.tufts.ac.jp/handle/10108/92404
掲載雑誌	東京外国語大学論集 (Area and Culture Studies) no.96 p.133 -147
出現コレクション	東京外国語大学論集
ライセンス	 Creative Commons : 表示

DOI の例 : [10.15026](#) / [92404](#)

東京外国語大学の番号

機関が付ける任意の番号
(機関内で重複しない)

CC ライセンスの詳しいページにリンクされています

登録ファイル	ファイル	記述	サイズ	フォーマット	
acs096008_ful.pdf	本文 (Fulltext)		1778Kb	Adobe PDF	見る/開く
acs096008.htm	抄録/要約 (Abstract/Summary)		93Kb	HTML	見る/開く

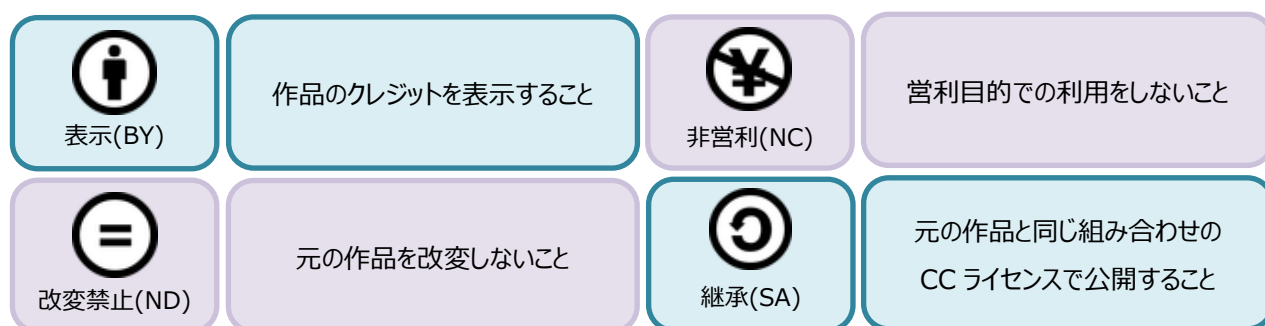
実際に DOI をもとに、その論文にアクセスしたいときは、DOI の前に「<https://doi.org/>」を付けて、ブラウザの URL に入力します。

★図 1 の論文の URL : <https://doi.org/10.15026/92404>

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (CC ライセンス) とは

CC ライセンスはオープンアクセス (OA) 論文でよく使用されていますが、著作権を保持したまま、「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。図 2 のように 4 つの条件があり、これらの条件を組み合わせた 6 種類の CC ライセンスがあります。詳細は、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンのウェブサイト (<https://creativecommons.jp/>) をご覧ください。

図 2 CC ライセンスの条件の種類



東京外国語大学のオープンアクセス方針では、CC ライセンスの「表示(BY)」を付与することを推奨していますが、著者は自分の目的にあった CC ライセンスを選択することができます。CC ライセンスが付与されている場合、簡易表示画面 (図 1) の「ライセンス」項目に内容が記載され、アイコンも表示されるようになっています。このアイコンをクリックすると、「コモンズ証」という、この論文に付与されている CC ライセンスのわかりやすい説明のページに遷移します。

DOI と CC ライセンスは国際的に利用されているものです。しくみや内容を理解すれば、世界中の論文へのアクセスとその使用方法がぐっと広がります。活用してみてください。

My Library の新機能「図書・雑誌の購入状況」について (教員・研究者向け)

2018 年 9 月末に図書館システムの更新を行い、My Library に教員・研究者向けの新しい機能「図書・雑誌の購入状況」メニューが追加されました。公費や科研費で購入した図書・雑誌の一覧が見られます。大学院生でも、科研費をお持ちの方は利用できます。年度ごと (2 年分) に、タイトルや価格の確認、見込額・支払済額の集計ができ、エクセルファイルでエクスポートも可能です。

★My Library : <https://www-lib.tufs.ac.jp/portal/>



旧分類図書コレクション紹介

OPACで図書を検索したとき、「書庫 1 層旧分類コーナー」と表示されているのを見たことはありませんか？地図を頼りに行ってみると、図書館 1 階の奥まったところに古～い本が並んでいた...それが「旧分類図書」です。

東京外国語大学は明治 6 年（1873 年）の建学以来 140 年以上の歴史がありますが、その中で 70 万冊以上の図書を収集してきました。旧分類図書はそのうち昭和 37 年（1962 年）3 月末までに受け入れた図書約 9 万冊を指します。中には語学史や文学史の教科書に載っている文献の原書も含まれており、歴史あるコレクションです。昭和 37 年 4 月から分類体系を新しくしたため、以降に受け入れた図書を旧分類に対して新分類図書と呼びます。新旧の分類体系は以下のように対応しています（図 1）。

図 1 旧分類・新分類図書の請求記号例
—「国際法講座 第 1 巻」の場合—

J	…言語分類…	A
VI	…主題分類…	329
8242	…受入順番号…	15
	…巻号…	1

分類 体系	旧分類	新分類
言語 分類	言語・地域の英語名の 頭文字	各言語に A から順にアルファベ ットを割り当てたもの
主題 分類	主題に I ～ X までのローマ 数字を割り当てたもの	日本十進分類法による ＊ 言語と文学は独自分類

特定の言語・地域と主題の図書について、旧分類にどんな図書があるか調べるには、OPAC の請求記号入力補助ツールが便利です（図 2）。言語にもよりますが、旧分類図書全体の 7 割以上（2018 年 10 月末現在）を OPAC で検索することができます。ぜひこのツールを活用して旧分類図書から隠れたお宝（？）を見つけ出してください。

図 2 OPAC の請求記号入力補助ツール -フランス(F)の文学(III)の図書を検索する場合-

① 図書館旧分類

② 言語分類: F/ フランス

③ SET

④ 請求記号: F/III/*

- ① OPAC の詳細検索→請求記号欄下の「図書館旧分類」リンクをクリック
- ② 「言語分類」と「主題分類」をプルダウンメニューから選択
- ③ 「SET」をクリック
- ④ 請求記号欄に自動でセットされるので、「検索」をクリック→
選択した言語・主題の旧分類図書が表示される

Pick
Up!

～こんな本、あります～「無情」春園作

(興文堂書店、滙東書館、1925年12月刊6版) 請求記号：K/Ⅲ/313



春園とは、朝鮮近代文学の祖と言われる李光洙(り・こうしゅ, 이, 광수 (イ・グァンス), 1892-1950)の別名です。「無情」は1917年1月1日から6月14日まで126回にわたって「毎日申報」*に連載された李光洙の最初の長篇小説で、韓国近代小説史上の記念碑的作品として評価されています。李光洙は韓国・日本の両国で活動しましたが、どちらの国にも1918年7月の初版に近い原本があまり残っていません。当館の旧分類所蔵図書は6版ではありますが、希少性という意味で大変貴重な資料です。

*日本統治時代の朝鮮において発行された朝鮮総督府の機関紙。

資料を利用する際は

旧分類図書は書庫1層に配架されています。図書が書架に見当たらない時は、登録作業中の可能性がありますので、2階カウンターにお問い合わせください。

紙の質が悪かったり、壊れかかったりしているものがありますので、自動貸出機での貸出や、ブックポストへの返却はできません。貸出・返却をする際はカウンターにお持ちください。閲覧や持ち運びの際は、破損ができるだけ進まないよう、以下にご注意ください。

★ 書庫1層への地図



水に濡らさないでね。
雨の日の持ち運びや、
飲み物の結露などに
注意してね。



書き込みをしないでね。
マーカーもダメだよ。
気になるところは、
メモ用紙を挟んでね。



切ったり、折ったりしな
いでね。剥がす時に破れ
たりするので強い付箋
もはらないでね。

上記のマナーは、旧分類図書だけでなく図書館の資料すべてに言えることですが、もし本が壊れたり汚れたりしてしまった場合は、職員にお知らせください。図書館の資料は利用者みなさんの共有財産です。たくさんの人に長く利用していただけるよう、大切に使用してください。

遡及登録ニュース

★旧分類図書コレクションについて、日本語、朝鮮語、中国語、英語、ドイツ語、イタリア語の図書が全点 OPAC で検索ができるようになりました。また、今年度はフランス語、スペイン語、ロシア語、タイ語、ヒンディー語、モンゴル語の登録作業を進めています。

公開講演会

詞（ことば）を紡ぐ

作詞家・プロデューサー 阿木燿子氏

毎年、学内外からご好評いただいている公開講演会。平成29年度は、作詞家・プロデューサーとしてご活躍の阿木燿子氏に上記タイトルで講演いただきました。

【日時】平成29年12月6日(水) 17時30分～19時00分

【場所】東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウスホール

ミュージシャンの宇崎竜童氏とご結婚後、作詞家としてデビューされ、1970年代のトップアイドル山口百恵をはじめとする数多くのアーティストの楽曲に詞を提供してこられた阿木燿子さん。さまざまな世代の感性やシチュエーションを描く詞の数々、多くの人々の心に残るそれらの「詞（ことば）」が紡がれてきた現場すなわち作詞家の内面とはどのようなものなのか、約160名の参加者を前に語っていただきました。

附属図書館第18回特別展示 / スペイン語120周年記念

外国人教師エスパーダの業績 ースペイン語版ちりめん本を中心にー

高等商業学校附属外国語学校（現在の東京外国語大学）に日本で初めてスペイン語専攻の課程が誕生したのが1897年。2017年は本学のスペイン語120周年となる記念の年でした。そこで今回の展示では、スペイン語専攻第三代外国人教師として活躍したゴンサーロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ（Gonzalo Jiménez de la Espada）の業績を紹介しました。

【会期】平成29年10月23日(月)～11月6日(月)

【場所】附属図書館2階ギャラリー

【主催】東京外国語大学附属図書館

【協力】清泉女子大学附属図書館 ※所蔵資料をお借りし、展示しました

G・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダは、1874年スペインのサラマンカに生まれ、1907年9月、33歳の時に日本政府の招聘により東京外国語学校（本学の前身）の三代目スペイン語教師として来日しました。



Gonzalo Jiménez de la Espada, 1874-1938

翌年から 9 年半にわたって教鞭をとり、教育熱心だった彼は、学生たちからも「エスパダさん」と呼ばれて慕われたそうです。

スペイン語教師としての仕事に加えて、日本文化をスペイン語世界に紹介する翻訳にも従事し、1909 年に新渡戸稲造『武士道』(1900) のスペイン語訳を、1914 年にはスペイン語版「ちりめん本」を出版しました。また、B・H・チェンバレン (1850-1935) の『Things Japanese (日本事物誌)』(1890)、パーシヴァル・ローエル (1855-1916) の『The soul of the Far East (極東の魂)』(1888)、そしてアーネスト・W・クレメント (1860-1941) の『A short history of Japan』(1915) 等の翻訳にも取り組みましたが、残念ながらこれらはいずれも未完のまま残されました。

1916 年に日本を離れスペインに帰国し、1938 年に生涯を終えます。日本のスペイン語学の礎を築き、翻訳を通じてスペインと日本の文化の懸け橋たらんとした人生でした。



【展示資料】
『Momotaró』(桃太郎)
スペイン語版ちりめん本

「ちりめん本」とは、印刷した和紙を加工し、一面に細かなしわを出したような仕立てにし、和綴じ製本した本のことを言います。明治中頃から昭和初期にかけて、主に欧米諸外国人に日本文化を紹介する目的で製作されました。加えて、外国語を学ぶ日本人向けのテキストとしての意味もあったようです。

長谷川武次郎 (1853-1936) によって 1885 年から発行され始めたちりめん本『Japanese Fairy Tale Series』全 20 編は、英語版、フランス語版、ドイツ語版、ポルトガル語版、ロシア語版など多言語にわたります。

エスパダが英語版から翻訳したとされるスペイン語版ちりめん本は、1914 年に『Cuentos del Japón viejo (日本昔話)』と『Leyendas y narraciones japonesas (日本の民間伝承)』各 10 編の 2 つのシリーズとして発行されました。

展示では、スペイン語版ちりめん本などエスパダが翻訳その他に関わった書物に加え、当時の東京外国語大学を知ることができる大学史資料、彼の教え子であった永田寛定 (1885-1973 『ドン・キホーテ』等スペイン文学の翻訳を手がけた) や笠井鎮夫 (1895-1989 スペイン語教本を数多く執筆) といった、今に名を残すスペイン文学者・スペイン語学者たちの翻訳書・著書などをご覧いただきました。



【展示ケースの様子】

本稿に記載の図書及び展示の詳細は、展示会パンフレットでご確認いただけます。以下の URL で公開しています。

<http://www.tufs.ac.jp/library/guide/shokai/tenji18.pdf>

「日本の大学図書館のうち半分以上が 本学にある言語の本」展示

附属図書館では約 280 もの言語で書かれた本にふれることができます。そのなかで、東京外国語大学だからこそ読める『レア』な言語には、いったいどのようなものがあるのでしょうか？

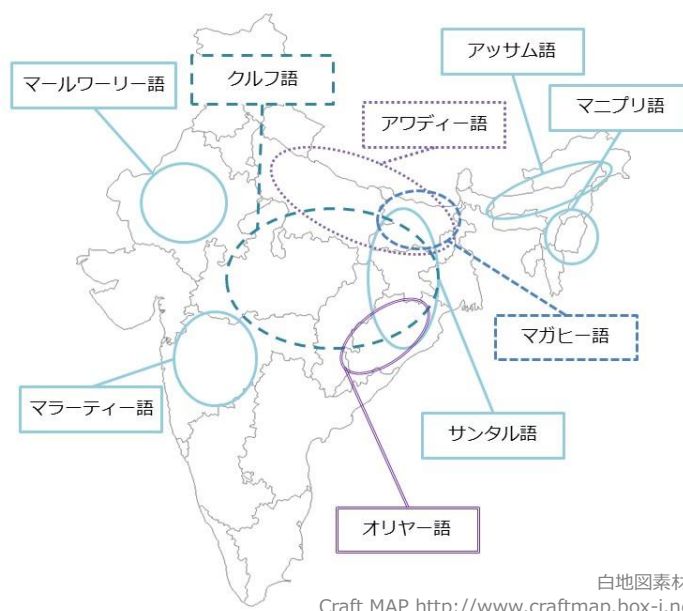
【会期】平成 29 年 11 月 2 日(木)～12 月 1 日(金)

【場所】附属図書館 2 階閲覧室

展示では、特定の言語について、日本の大学図書館蔵書のうち半数以上を本学が所蔵する資料 (2017 年 9 月時点) を CiNii Books で調査しました。

★CiNii Books : <https://ci.nii.ac.jp/books/>

調査の結果、マールワリー語は、ほぼ 100%が本学にあるということが分かりました。また、クルフ語、サンタル語、アッサム語、マニプリ語、アワディー語、マラーティー語は 80%以上、オリヤー語、マガヒー語、ブリヤート語は、60%以上の蔵書を本学が所蔵しています。



白地図素材 :
Craft MAP <http://www.craftmap.box-i.net/>



図 1 サンタル語で使われるオル・チキ文字



図 2 マニプリ語はメイティ文字を使用

ブリヤート語は、ロシア連邦のブリヤート共和国の言語ですが、それ以外はすべてインドの言語です。

同じインドの言葉でも、マールワリー語やクルフ語、アワディー語、マラーティー語、マガヒー語などでは、デーヴァナーガリー文字が使われ、そのほかアッサム文字やベンガル文字、オル・チキ文字 (図 1)、メイティ文字 (図 2) を使用する言語もあります。

展示資料から、実に多様なインドの文字文化を垣間見ることができました。

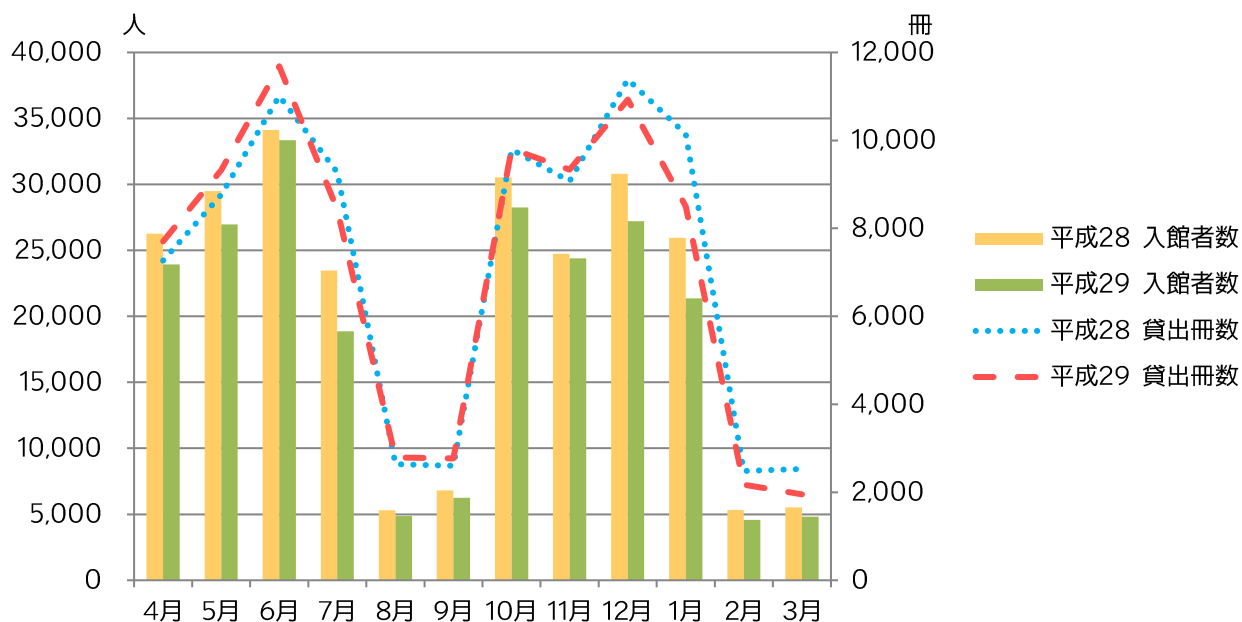
展示資料のリストは以下の URL で公開しています。

http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/news/2017/11/_116-121.html

図書館統計

入館者数・貸出冊数 同月比較

【平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）、平成 29 年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）】



入館者数・貸出冊数・開館日数・開館時間数

	平成 28 年度		平成 29 年度	
	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数
4 月	26,269	7,269	23,946	7,704
5 月	29,482	8,764	26,979	9,330
6 月	34,121	11,010	33,359	11,685
7 月	23,487	9,276	18,866	8,430
8 月	5,303	2,643	4,859	2,794
9 月	6,818	2,602	6,242	2,769
10 月	30,530	9,796	28,257	9,811
11 月	24,748	9,076	24,394	9,332
12 月	30,797	11,386	27,218	10,931
1 月	25,957	10,144	21,355	8,498
2 月	5,327	2,485	4,582	2,173
3 月	5,522	2,528	4,818	1,953
合 計	248,361	86,979	224,875	85,410
開館日数	294		300	
開館時間	2,981		2,920	

図書館ホームページでは
より詳細な内容がご覧いただけます。

« 入館者数 »

http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei_visitors.pdf

« 貸出冊数 »

http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei_loan.pdf

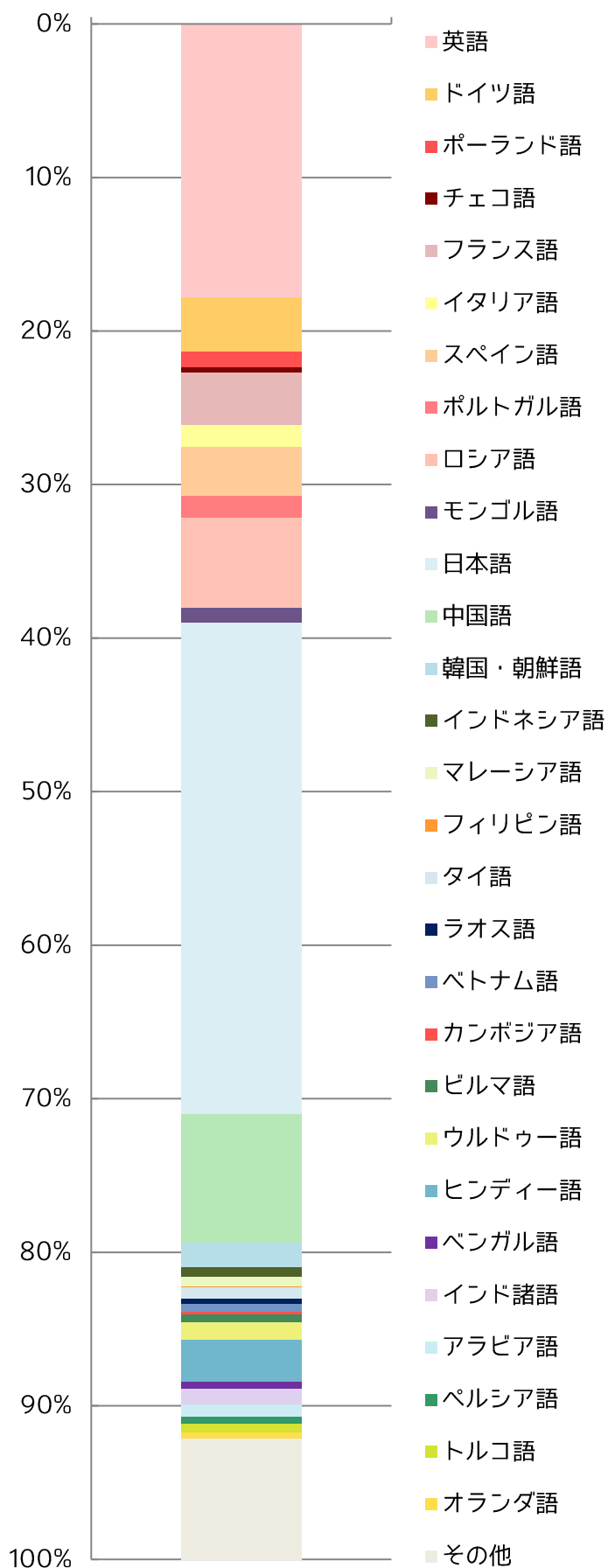
その他の統計は以下の URL から
ご覧いただけます。

<http://www.tufs.ac.jp/library/index4-j.html>

附属図書館・言語別所蔵冊数

【平成 30 年 4 月現在】アジア・アフリカ言語文化研究所蔵書は除く

言語名	冊数	割合
英語	129,753	17.80%
ドイツ語	26,025	3.57%
ポーランド語	7,312	1.00%
チェコ語	2,311	0.32%
フランス語	25,356	3.48%
イタリア語	10,035	1.38%
スペイン語	23,471	3.22%
ポルトガル語	10,440	1.43%
ロシア語	42,602	5.84%
モンゴル語	7,178	0.98%
日本語	233,005	31.96%
中国語	61,355	8.42%
韓国・朝鮮語	11,236	1.54%
インドネシア語	4,956	0.68%
マレーシア語	4,439	0.61%
フィリピン語	372	0.05%
タイ語	5,535	0.76%
ラオス語	2,506	0.34%
ベトナム語	3,477	0.48%
カンボジア語	1,406	0.19%
ビルマ語	3,638	0.50%
ウルドゥー語	8,554	1.17%
ヒンディー語	19,662	2.70%
ベンガル語	3,386	0.46%
インド諸語	7,621	1.05%
アラビア語	5,675	0.78%
ペルシア語	3,337	0.46%
トルコ語	4,202	0.58%
オランダ語	2,789	0.38%
その他	57,355	7.87%
合計	728,989	



図書館活動日誌（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

【活動】

- 4 月 5 日 リクエストガイダンス（全 40 回 ～平成 30 年 1 月）
- 4 月 6 日 基礎リテラシー科目附属図書館担当分講義「附属図書館利用案内」（全 2 回 4 月 18 日）
- 4 月 10 日 図書館オリエンテーション（全 7 回 ～19 日）
- 4 月 14 日 リクエストガイダンス（全 35 回 ～平成 30 年 1 月）
- 4 月 18 日 基礎リテラシー科目附属図書館担当分演習「図書館検索演習・実習」（全 4 回 4 月 20 日・25 日・27 日と計 4 日間）
- 5 月 1 日 総合国際学研究基礎科目附属図書館担当分講義「図書館の学術的利用方法」
- 5 月 30 日 学習相談デスクガイダンス「映画の理解と分析のポイント」（多言語コンシェルジュ企画）（全 2 回 6 月 6 日）
- 6 月 1 日 学習相談デスクガイダンス「脱感想文！批判力を駆使したレポートの書き方」（多言語コンシェルジュ企画）（全 2 回 6 月 8 日）
- 6 月 2 日 学習相談デスクガイダンス「ダメレポートから見る良いレポートの書き方」（多言語コンシェルジュ企画）（全 2 回 6 月 9 日）
- 6 月 24 日 土日拡大開館実施（開館時間を 13:00 から 9:00 に変更 6 月 25 日・7 月 1 日・7 月 2 日と計 4 日間）
- 6 月 28 日 平成 29 年度第 1 回図書館委員会
- 7 月 5 日 平成 29 年度第 1 回学生用図書選定会
- 7 月 9 日 オープンキャンパス図書館見学
- 7 月 11 日 夏学期集中講義期間の土日開館実施（～7 月 30 日、9 月 9 日～24 日）
- 10 月 4 日 図書館館報「Castalia」24 号発行（インターネット公開）
- 10 月 10 日 学習相談デスクガイダンス学部生向け卒論ガイダンス（多言語コンシェルジュ企画）（全 6 回 ～20 日）
- 10 月 16 日 平成 29 年度第 2 回学生用図書選定会
- 10 月 23 日 平成 29 年度附属図書館特別展示（「外国人教師エスパーダの業績：スペイン語版ちりめん本を中心に」～11 月 6 日）
- 11 月 6 日 館員企画展示「日本の大学図書館の半分以上が外大にある言語の本」展示（～12 月 1 日。同時開催「東京外国語大学で読める 100 冊のおいしい本リスト配布」）
- 12 月 5 日 学習相談デスクガイダンス「キツネとハリネズミの検索術」（多言語コンシェルジュ企画）（全 2 回 12 月 13 日）
- 12 月 6 日 平成 29 年度附属図書館公開講演会（阿木耀子氏 作詞家・プロデューサー「詞（ことば）を紡ぐ」）
- 12 月 11 日 平成 29 年度第 3 回学生用図書選定会
- 1 月 6 日 土日拡大開館実施（開館時間を 13:00 から 9:00 に変更 1 月 7 日と計 2 日間）
- 2 月 5 日 平成 29 年度第 4 回学生用図書選定会
- 3 月 14 日 平成 29 年度第 2 回図書館委員会

【学外会議・研修等】

- 4 月 26 日 国立大学図書館協会東京地区協会総会 2 名参加（於 電気通信大学）
- 5 月 30 日 TAC 図書館部会館長会議、実務担当者会議 3 名参加（於 津田塾大学）
- 6 月 5 日 漢籍整理長期研修 1 名参加（於 東京大学東洋文化研究所ほか ～9 日、9 月 4 日～8 日）
- 6 月 16 日 東京西地区大学図書館協議会加盟館会議 3 名参加（於 杏林大学井の頭キャンパス）
- 6 月 22 日 第 64 回国立大学図書館協会総会 2 名参加（於 千葉 ～23 日）
- 7 月 5 日 西洋古典資料保存講習会 1 名参加（於 一橋大学附属図書館 ～7 日）
- 9 月 12 日 平成 29 年度図書館等職員著作権実務講習会 1 名参加（於 東京大学本郷キャンパス ～13 日）
- 10 月 4 日 平成 29 年度大学図書館職員短期研修 講師 1 名派遣（於 京都大学）
- 10 月 17 日 平成 29 年度大学図書館職員短期研修 講師 1 名派遣、1 名参加（於 国立情報学研究所 ～20 日）
- 10 月 25 日 第 37 回西洋社会科学古典資料講習会 1 名参加（於 一橋大学 ～27 日）
- 10 月 27 日 TAC 図書館部会実務担当者会議 1 名参加（於 津田塾大学）
- 12 月 15 日 TAC 図書館員交流会 2 名参加（於 津田塾大学）
- 12 月 19 日 東京西地区大学図書館協議会セミナー 3 名参加（於 工学院大学）
- 2 月 16 日 国立大学図書館協会東京地区協会研修会 運営スタッフ 1 名派遣、1 名参加（於 東京学芸大学）
- 3 月 9 日 平成 29 年度関東甲信越地区国立大学図書館職員研修会 1 名参加（於 筑波技術大学）

編集後記

今回の特集記事で取り上げた旧分類図書。日本における外国語学の黎明期の礎となり、その発展を支えた蔵書たち。地震、火災、空襲といったいくたびもの災禍に見舞われるなか、明治、大正、昭和とその数を拡大し、時に失われもしつつ、平成にまで引き継がれてきたコレクションの古色蒼然たる静かな佇まいのなかに、外語大が歩んできた長い歴史を感じ取ることができます。そして、図書館が資料を持ち続けることの意味を考えさせられます。

Castalia：東京外国語大学附属図書館報 第 25 号

2018 年 10 月 31 日発行

発行：東京外国語大学附属図書館 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

電話：042-330-5193 ホームページ: <http://www.tufs.ac.jp/library/index-j.html>